

令和4年度 松田町地域座談会<中丸地区>意見交換の要旨

日 時：令和4年7月3日(日) 午前10時00分から11時45分

場 所：中丸地域集会施設

出席者：中丸自治会 15名

町 長：本山町長、鈴木参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長、鎌田安全防災担当室専任主幹、政策推進課（鍵和田、渡邊）

意見交換の記録（●…意見、⇒…回答） ★は町からの提案、方針

●足柄上病院について2号館の建替が始まるとのことだが新松田駅からの歩道などの整備についても町から県に要望してほしい。

⇒（町長）

病院建替については県が進めていることであるが交通量の増加等にあわせた整備についても県に要望している。引き続き歩道の整備やアンダーパスの拡幅などについて関係機関に要望していく。

●駅へ向かう道では朝の時間に右折禁止となるが守らない人もいる。看板の位置や色などでもっとわかりやすく右折禁止を周知すべき。

⇒（町長）

看板設置については位置や大きさによって他との干渉などもあるためバランスをみながら検討していきたい。

●駅北口の駅前広場から出て左折する箇所は見通しが悪く歩行者が見えづらい。カーブミラーなど設置してほしい。

●跨線橋の下でいつも水漏れがあり車が避けて通るため対向車線にはみ出し危険。水漏れだけでなく崩落なども心配だが JR にはいくら要望しても返事がない。町からも強力に JR に要望してほしい。

⇒（町長）

担当課も把握しており JR とやりとりしているが詳細は今ここでは申し上げられない。大がかりな工事でなくても出来る対処方法はあると思うので要望していきたい。

●文久橋からの道は朝9時まで右折禁止であり、その先でいつも警察が取り締まりをしている。違反を待つのでなく右折の手前で指導するなど町から警察に要望してほしい。

⇒（町長）

右折禁止にすることで渋滞や混雑を助長している面もある。地元の方からの問題意識が高いと一言を伝えていきたい。

【資料「地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見」について】

●No14 防災倉庫の維持管理、備品等について予算の増額や新しい発電機の配布をお願いしたい。

⇒（鎌田専任主幹）

発電機については自治会によって求められる機能や性能も違い、例えば携帯の充電ができればということであればポータブル発電という選択肢もある。自治会でどのような機能を求めているのかによって相談いただければ応じたい。従来の発電機について一概に撤去するのではなく町としては点検して使える状態を維持していく。また、防災倉庫については自治会での点検、清掃をぜひお願いしたい。

●No15 防災リーダーの研修などを行ったがその後のネットワーク化などはどうなっているのか。No21の地区防災計画にも関連する。

⇒（鎌田専任主幹）

防災について、阪神淡路大震災後に地域の「自助」が重視される傾向が強まったが、現在は倒壊した家屋からの救助はプロに任せ、地域住民はそうした箇所をしかるべき部署に連絡すること、救助が必要な人に寄り添い側に居てあげることが重要。地区防災計画も難しいものとは考えず、まずは助けが必要な人を地図に落とし、避難所までの経路を確認するなど、できることから初めて欲しい。初めから完成版ではなく、表紙だけでもよい、ひとつひとつ決めていきページが増えていくようにしていけばよい。

●川音川の上流では流木が多く、増水したとき橋脚に被害がでかねない。河川は県の管轄だが、小田急などにも改善を要望してほしい。

⇒（町長）

川音川の整備については毎年県に要望しており少しずつ進めている。引き続き要望していきたい。

●No16 防災キャンプの提案についてはいかがか。

⇒（鎌田専任主幹）

提案として検討していきたい。

●No17 防災訓練に関して、大井町では毎月15日は防災を呼びかける日を設定している。松田町でも意識付けの取組を進めてはどうか。

⇒（鎌田専任主幹）

防災無線機器の点検を兼ねて月に1度無線でやりとりを行っている。さらに防災の意識付けとなるよう、防災訓練などと併せて呼びかけを進めたい。

●中丸児童公園の地中にある防火槽について、数年前に桜の根っこが防火槽を包み込んでいるため木を切るがよいかと確認され許可したが、その後何の進展もない。担当も変わった。以前は訓練の時に濾過器でその水を飲むなどもしていた。今どうなっているのか。

⇒（鎌田専任主幹）

防火槽については使用しないことになり、自治会としても管理していない。濾過器も古くなり利用できない。災害時は中学校の設備から給水を受けることになっている。

⇒（町長）

町として状況を確認して改めて会長に報告する。

●No20、22、23 避難所での食料確保の目安についてはどう考えればよいか。

⇒（鎌田専任主幹）

町としては一律ではなく、各自治会によって必要とされるものや量はそれぞれ違うと考える。各自治会の想定に応じて必要な支援を行っていきたい。

●水や食料だけでなく、トイレの問題についてはどう考えているのか。

⇒（鎌田専任主幹）

町では簡易トイレを準備して、指定避難所を中心に配置する。皆さんのなかには自宅避難を考えている方も多いと思うが水や電気が止まったらどうなるか。実際にどんな物が必要になるか、自宅が避難所となったことを想定して備えてほしい。

★中丸児童公園の桜について

⇒（町長）

桜の木が成長して密になっている。毛虫も多く子どもが遊具で遊べないとの意見もある。1本置きに間引きをするなど検討し、しっかりと管理していきたい。

★防災に関して

⇒（町長）

自治会で備える際は「何のために備えるのか」を意識した準備をしてほしい。9月4日の防災訓練ではぜひ各自の必要なものを準備して参加いただき、そこでお互いに話し合ったり使い方を教え合ったりする場にしたい。また先ほどの防災無線のやりとりに加え、広報で定期的に防災について周知するなど工夫したい。

閉会